

## 令和 6 年度共創モデル実証運行事業への応募について

### 1. 令和 6 年度共創モデル実証運行事業について

#### (1) 事業概要

交通を地域の暮らしと一体として捉え、地域の多様な関係者が連携・協働した取組を通じて、地域交通の維持・活性化を図る実証事業に要する経費を国(国土交通省)が支援(補助率 2/3、上限 1 億円)するもの。

### 2. 令和 6 年度共創モデル実証運行事業への応募内容について

#### (1) 事業名

甲斐市版モビリティハブを活用した地域交通の事業性改善プロジェクト

#### (2) 事業実施体制

##### ①実施主体

甲斐市地域公共交通会議

##### ②共創パートナー

甲斐市、ラザウォーク甲斐双葉、東日本旅客鉄道株式会社、医療機関(調整中)、こども・子育て機関(調整中)、教育・スポーツ機関(調整中)

##### ③運行主体

山梨交通株式会社等市内交通事業者

#### (3) 応募内容

採算性を考慮した公共交通スキームの確立と鉄道、民間路線バスを含めた公共交通全体の利用促進等により持続可能な公共交通システムを構築するため、次の 4 つの実証実験を行う。

##### ①AI オンデマンド交通の実証運行

運行地域：竜王、敷島及び双葉の一部地域(詳細なエリアは検討中)

運行期間：令和 6 年 10 月 から 11 月まで

運行時間：9 時から 17 時※期間後半は 7 時から 20 時までとする予定

利用料金：有償(詳細な金額は検討中)

その他：詳細は運行事業者や AI オンデマンドシステム提供事業者等と協議し決定する。

②事業者等のスポンサー化による新たな収益の創出

- ・ 停留所設置料や停留所マップ等への広告掲載料の募集
- ・ 輸送協力支援(甲斐市民バス応援事業※の拡大)

※甲斐市民バスの利用者に対して連携商店がサービスを提供する事業。  
詳細は甲斐市民バス時刻表の下部参照。

③モビリティハブの整備

公共交通の乗継拠点となる空間(モビリティハブ)の整備を行う。

No.	施設名	整備内容
1	敷島図書館	・イス、机等の設置
2	JR 竜王駅	・キッチンカーの出店
3	ラザウォーク甲斐双葉	・フリーWi-Fi 設置ほか

④キャッシュレス決済の導入

公共交通車両にキャッシュレス決済を導入し、マイナンバーカードと連携した割引料金の設定や決済情報から移動データを取得しデータに基づく利用分析等を行う。

(4) 事業費

補助対象経費：71,760,000 円

補助金額：49,506,666 円 (補助対象経費 500 万円以下の部分は定額、500 万円を超える部分は 2/3)

(5) 事業スケジュール

内容 \ 月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
採択結果通知	★											
実証準備		→										
広報・PR		→										
実証実施							→					
効果分析	→ 昨年度までの実証データによる交通計画への反映								→ 本実証データによるアップデート			
実績報告									→			